

国内交换留学 報告書



目次

- 01 派遣に関する情報
- 02 達成できたこと
- 03 達成できなかったこと
- 04 今後の進路
- 05 学生へのアドバイス

01

派遣に関する情報

基本情報

派遣先：立命館大学理工学部

期間…半年間（7セメスター時）

時期…2026年4月～9月

A P U 学部 … S T

開始…2026年4月～9月



授業・ゼミ

- ✓ 学習できた
- ✓ 引き続き、消化中
- ✓ 登録外の自主学習

✓ 確率統計学

✓ AI・機械学習

✓ 環境評価システム

✓ 情報科学I

✓ 生物科学2

✓ 都市デザイン

✓ 派遣先ゼミ

✓ 他学部聴講（ソフトウェア工学など）

02

達成できたこと

当初の動機

- 「データサイエンスと情報システム」

派遣元のサステナビリティ観光学部のコンセントレーションとしての、当該分野の学習を深めたい。

* 6セメスターまでの経験に基づく卒業研究のため

- 「環境学」・「地域づくり」の補足も

加えて、理工学部の授業を幅広く学べる中で、これらの専門的内容も、追加的に勉強したい。

実際には…

派遣前には想定していなかった出会いこそが学びに。

ゼミ

理工学部に勧められて参加したゼミの、
学習環境に感動。
→ 注力することに。



予想外の授業

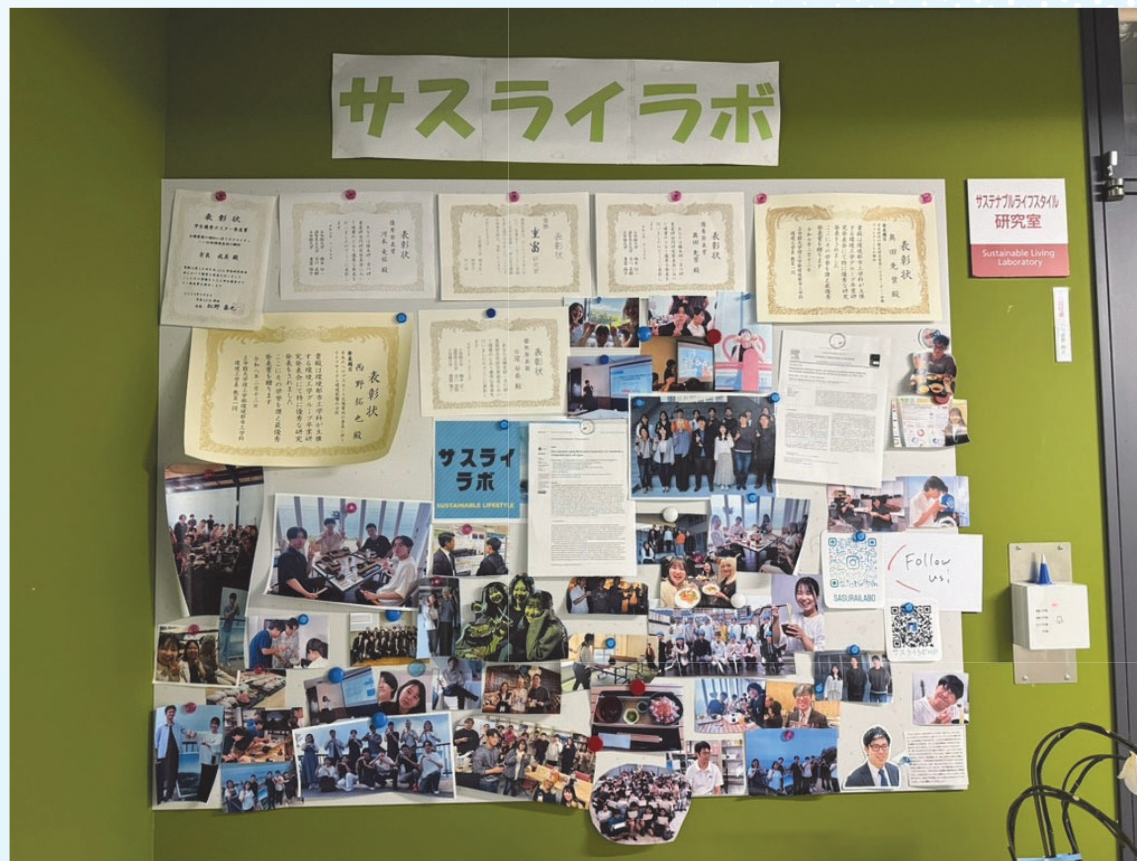
「都市デザイン」の
授業に感銘を受け、
大学院生を含む発表
会に参加するなど。



ゼミ

学生主導のサブゼミ
を含め、毎週参加。
夏合宿で成果発表。

APUとの環境面で
の違いを肌で感じ、
研究への思いが深ま
ることに。



研究室にて

都市 デザイン

授業を通じてお誘い
いただき、演習の発
表会に参加。

別府で学んだ地域目
線のまちづくりを、
建築的な発想から捉
え直すことに。



市議会議員、
市役所職員、
企業とのWS

＋ アルバイト

体験施設運営、旅行業などを行う地域の会社（京都市）で。

少人数の職場での、ツーリズム・オペレーションのサポート業務。



休日の飲み

03

達成できなかったこと

代わりに できなかった ことも…

Q 留学中の生活はどんなでしたか？

派遣元・派遣先の両ゼミでの発表、アルバイトが重くなり、通常授業の勉強が追いつかないことも…。

Q 留学を通じて得たものは何ですか？

しかし、APUでの卒業研究のスピノフ的な研究を派遣先で取り組むこともできた。また、観光業界への就職となる中、アルバイト先で貴重な経験が。

04

今後の進路

就職・進学

「学問的実践家」のために

「観光×デジタル」を専ら扱う企業へと就職予定。
今回の国内交換留学で得た経験をもとに、今後も実務での知見と往復しながら、研究についても深めたい。

データ
活用

観光地
経営

施策
まちづくり

05

学生へのアドバイス

諸々

要するに、
なんとかなります。

履修登録など

メールの設定などを含め、
派遣先でオフィスの方が丁寧に対応してくださるので、心配ありません。

勉強の進め方

responというアプリを使用するなど、授業ではAPUと異なる点も少しありますが、慣れます。

生活の知恵

BKCでは昼食時の食堂と、
南草津駅とキャンパス間のバスが混み合いますが、時間をズラしましょう！

その他

3つのキャンパス間を格安のシャトルバスを使用して移動できるため、これを活かすのもアリだと思います。

メッセージ

思うようにはならなくても… それもまた学びになる

率直に言って、はじめに考えていたような勉強生活にはならなかったです。

けれども、偶然に身を委ねながら、その結果いただいたものもまた、とても多いです。

ゆるく色々やってみるのがよいと、あらためて考えさせられました。それで十分ではないでしょうか。



THANK YOU!

この度は貴重な機会を、
ありがとうございました。

国内交換留学 最終報告 立命館大学 経営学部

2026年4月～2026年8月

氏名：徐 丁 *ご本人の許可を得て氏名を記載しています

APU所属学部：APM

APU → 立命館大学

国内交換留学を通して学んだこと・成長したこと





RITSUMEIKAN
UNIVERSITY

国内交換留学の目的

私が国内交換留学を希望した理由は、APUで学んでいる国際経営とは異なる環境で、日本の大学における経営学をより深く学びたいと考えたからです。特に、立命館大学経営学部での学習を通して、日本企業の経営、法律、人材マネジメント、事業承継などについて専門的に学ぶことを目標としました。また、普段とは異なる大学環境で学生生活を送ることで、新しい考え方や価値観に触れ、自分自身の視野を広げることも目的としていました。

- 留学前に設定した目標
- 日本企業の経営について理解を深める
- 経営学に関する専門知識をさらに身につける
- APUでの学びと他大学での学びを比較する
- 新しい環境で自立して学習する力を身につける



立命館大学での学び

立命館大学経営学部では、経営に関する複数の分野を学びました。

- 税法

企業活動に関わる法律について学び、企業経営において法律の知識が重要であることを理解しました。

- 人的資源管理論

企業における人材の採用・育成・評価・配置などについて学びました。特に、日本企業の雇用制度や働き方の変化について理解を深めることができました。

- 事業承継概論

企業の事業承継だけでなく、事業を次の段階へ発展させる「第二創業」についても学びました。実際の企業事例を分析しながら、中期経営計画を考える経験ができました。

- 学びを通して感じたこと

経営は一つの分野だけでは成り立たず、経営・法律・人材・財務などを総合的に考える必要があると実感しました。

APUと立命館大学での学びを比較して



pixta.jp - 84908836

- APUでは、国際経営を中心に、さまざまな国や地域の学生と学ぶ機会が多く、国際的な視点から経営を考えることができました。一方、立命館大学では、日本企業や日本の経営環境により焦点を当てた授業を受けることができました。

この違いを経験したことで、

「国際的な視点」と「日本企業を理解する視点」の両方が重要であると感じました。

- また、同じ「経営学」という分野でも、大学によって授業の進め方や学生の学び方に違いがあることを知りました。異なる大学で学んだ経験を比較することで、自分がこれまで学んできた知識を客観的に見直すことができました。



国内交換留学で達成できたこと

① 専門知識を深めることができた

商法、人的資源管理、事業承継など、これまでとは異なる角度から経営について学ぶことができました。

② 日本企業についての理解が深まった

授業で実際の企業事例を扱うことで、日本企業が抱える人材不足、事業承継、組織改革などの課題について具体的に考えることができました。

③ 実際に経営を考える力が身についた

事業承継や第二創業に関する課題を通して、単に知識を覚えるだけではなく、企業の現状を分析し、将来の戦略を考える経験ができました。

④ 自分の将来について考える機会になった

国内交換留学を通して、経営学をさらに深く学びたいという気持ちが強くなりました。特に、今後は経営学とAI・金融などの分野を組み合わせた学びにも関心を持つようになりました。

達成できなかったこと・ 今後の課題

- 今回の留学では多くのことを学ぶことができた一方、限られた期間の中ですべての分野を十分に深く学ぶことはできませんでした。特に、授業で学んだ経営理論を実際の企業活動と結びつけて理解するためには、さらに多くの実例や実務経験が必要だと感じました。また、専門的な内容を日本語で理解し、自分の考えを文章としてまとめる力についても、今後さらに伸ばしていきたいと考えています。

今後取り組みたいこと

- 経営学の専門知識をさらに深める
- 財務・会計についての理解を強化する
- AIと経営・金融の関係について学ぶ
- 実際の企業事例を分析する経験を増やす
- 日本語で論理的に説明・発表する力を高める
- 今回の国内交換留学を一つの経験で終わらせず、今後の学習やキャリアにつなげていきたいです。



課題

留学生活を通して感じたこと

- 今回の国内交換留学では、授業だけではなく、普段とは異なる環境で大学生活を送ること自体にも大きな意義がありました。APUとは異なる環境で生活し、さまざまな学生と関わることで、自分とは異なる考え方や価値観に触れることができました。また、新しい環境に入ること、最初は分からないこともありましたが、自分から情報を調べたり、周囲に質問したりすることで、徐々に環境に適応することができました。この経験を通して、**新しい環境に飛び込むことと、自分から行動することの大切さ**を実感しました。

留学を終えて

- 国内交換留学は、海外留学とは違った形で「自分の大学を外から見る」ことができる貴重な機会でした。立命館大学での経験を通して、自分のこれまでの学びを振り返り、今後どのような分野をさらに学びたいのかを考えることができました。



国内交換留学をする学生へのアドバイス

- 01 | 履修科目は早めに確認する

大学によって履修登録の方法やルールが異なるため、交換留学が決まったら早めに確認することをおすすめします。

- 02 | 授業は早めにペースをつかむ

交換留学開始直後は、授業の進め方や課題の量などに慣れるまで時間がかかります。最初の数週間で授業の特徴を把握することが大切です。

- 03 | レポートは計画的に進める

経営学系の授業ではレポートや課題が多い場合があります。締切直前にまとめるのではなく、授業後に少しずつ進めることをおすすめします。

- 04 | 分からないことは早めに聞く

履修、授業、生活などについて分からないことがあれば、一人で悩まず、大学の担当者や先生に早めに相談してください。

- 05 | 授業以外の経験も大切にする

せっかく普段とは違う大学で学ぶので、授業だけでなく、学生との交流や大学のイベントなどにも積極的に参加してみてください。

「単位を取るための留学」ではなく、「新しい環境から何を学べるか」を意識すると、より充実した交換留学になると思います。



✦ 立命館大学 ✦

国内交流プログラム 最終報告

Vu Khanh Linh *ご本人の許可を得て氏名を記載しています

APU所属学部：APM

基本情報

派遣先大学	立命館大学（大阪茨城キャンパス）
派遣先学部	経営学部
交換留学期間	6ヶ月（2026年3月～2026年9月）

交換留学で達成できたこと

① 16単位以上の履修・単位取得

- ・ 専門科目を中心に履修
- ・ 日本語で専門科目を学習
- ・ 「豊の国千年ロマン観光圏」のインターンシップに合格

② 日本語で専門科目を学ぶ経験

- ・ 初めてほぼすべての専門科目を日本語で受講
- ・ 授業内容だけでなく、専門用語も日本語で理解
- ・ 日本語で学ぶことへの抵抗感が減った



◆ 日本語力と学習面での成長 ◆

① 専門分野の学び

- 日本語で経営・マーケティングなどの専門科目を学習
- 日本企業の経営やビジネスの特徴について理解を深めた
- APUで学んだ知識を、日本企業や日本市場の事例と結びつけて考える機会が増えた

② 日本を多面的に学ぶことができた

- ビジネスだけでなく、日本の歴史・社会・技術など幅広い分野について学習
- 異なる分野の授業を通して、日本について多角的に考えられるようになった
- 日本で生活するだけでは得られない、学術的な視点からも日本への理解が深まった

③ 日本語力の向上

- 専門用語を日本語で理解する力が向上
- 筆記試験を通して、日本語で論理的に文章を書く機会が増えた
- 日本語で学ぶことへの自信がついた

学生生活を通して得た経験

① 寮生活

- 初めて6人部屋の寮生活を経験
- 異なる国籍・文化背景を持つ学生と共同生活
- 日常生活を通して文化や価値観の違いを学んだ
- 共同生活の中でコミュニケーション力・適応力が向上

② アルバイトと地域生活

- 茨木市のコンビニでアルバイトを経験した
- APU周辺と比べて外国人スタッフが少なく、日本人スタッフが中心の職場環境で働いた
- お客様も日本人の方が多く、勤務中は日本語を使う機会が非常に多かった
- 大阪で生活する中で関西弁に触れる機会も増え、地域特有の言葉やコミュニケーションについても学ぶことができた



立命館大学で印象に残った学生文化

- 高いレベルで競技に取り組む学生と出会った
- 日本代表レベルの学生とも交流
- 勉強とスポーツを両立する姿勢が印象的だった

達成できなかったこと・今後の目標

01 課題として残ったこと

- 専門的な内容について、日本語で即座に意見を述べることはまだ難しい
- 日本人学生と同じスピードで授業内容を理解するためには、より多くの予習・復習が必要だった
- 授業・アルバイト・日常生活の時間管理が難しい時期もあった

02 今後の目標

- 日本語で自分の意見をより論理的に説明できるようになる
- 就職活動で今回の経験を活かす
- 日本語を使う職場でも自信を持ってコミュニケーションする
- 専門知識と日本語力の両方をさらに伸ばす

後輩へのアドバイス

01 履修登録

- 英語開講科目がAPUより少ないため、英語基準学生は特に注意事前にシラバスをよく確認する
- 授業言語・評価方法・課題量まで確認する

03 時間管理

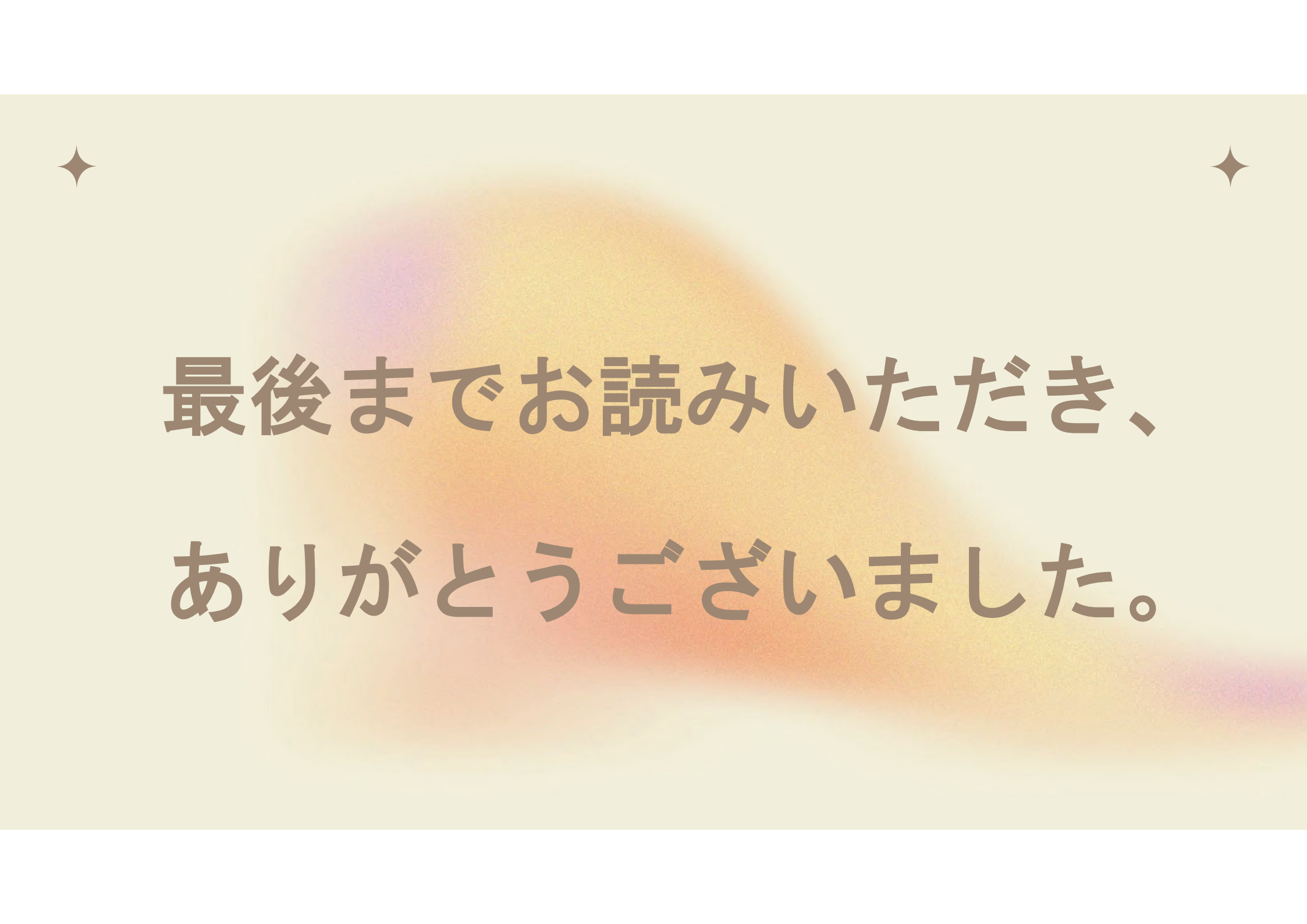
- アルバイトと授業のバランスを考えて履修
- APUより自主学習時間が必要になる可能性がある

02 学習方法

- 日本語科目では予習・復習の時間を多めに確保授業についていくために自主学習が重要
- 紙資料中心の授業もあるため、自分で整理する習慣が必要

04 立命館大学の授業スタイル

- 教員からすべてを教えてもらうというより、**自分で学ぶことを求められる授業が多い**
- 紙資料のみ配布する授業
- スライドや講義動画を自分で確認する授業
- 出席して資料を受け取り、自分で復習することが重要



最後までお読みいただき、
ありがとうございました。

FINAL REPORT / 2026 SPRING

国内交換留学 最終報告

派遣先大学：立命館大学 大阪いばらきキャンパス

派遣学部：経営学部

氏名

CHEN SIHANG

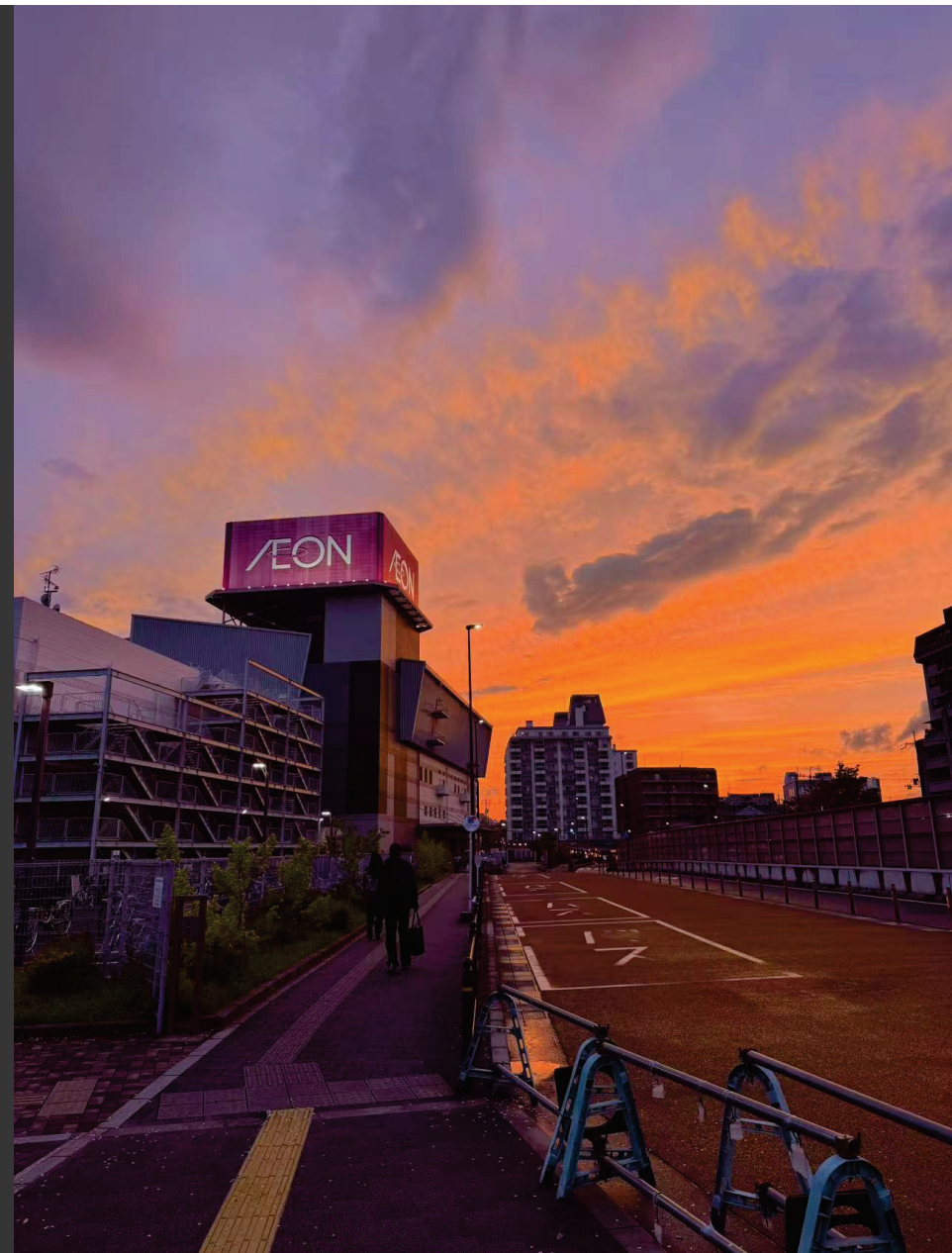
APU所属学部

APM

*ご本人の許可を得て氏名を記載しています

派遣期間

2026年 春学期（4か月）



● NUMBERS

数字で見る4か月

13 科目

立命館大学で登録した専門科目

20 単位

APUで認定される上限（＝10科目）

0 / 3科目

応募した教養科目のうち当選した数

1 週間

授業開始後、履修を取り消せる期間

30 分

新大阪の住まいから大学まで（乗換なし）

1 件

留学中に合格した資格試験

● BEFORE

留学前に考えていたこと

出発前に立てていた3つの目標と、実際にどうなったか。

留学前に立てた目標

実際にどうなったか

01 APUでは履修できない分野の授業を受け、専門知識を深める

経営学部の専門科目を13科目履修した

02 新しい学習環境に身を置き、視野を広げる

講義中心という、APUとは別の学び方を4か月経験した

03 自分に合った学習方法と、次に学びたい分野を見つける

インプット型が合うと分かり、関心が金融分野に絞れた

履修登録で実際にやったこと

01 専門科目を13科目、まとめて登録した

立命館大学側は登録科目数に上限がなかった。抽選が必要だったのは1科目だけで、それも通り、専門科目はすべて登録できた。

02 教養科目は3科目応募し、すべて落ちた

興味があった教養科目はいずれも抽選科目で、1つも取れなかった。

03 授業開始後の1週間で科目を絞った

実際に授業を受けてから取り消せる期間があるため、最初は多めに登録し、内容を見てから残す科目を決めた。

多めに登録した理由は、APU側で認定される単位が20単位（10科目）までで、認定されない可能性も見込んでおく必要があったため。

APUとの授業の違い

APU

立命館大学

授業形式

グループワークやディスカッションが多い

講義形式の授業が中心

知識の入り方

その場のやり取りの中で身につく

順を追って体系的に受け取る

自分の時間

授業内での作業の比重が大きい

予習と復習の時間が増えた

● INSIGHT

分かったこと：自分の学び方

講義でインプットし、あとから自分で整理する。
この順番の方が、自分には理解が進む。

気づいたきっかけ

実際に別の大学で学んだことで、大学による授業形式の違いだけでなく、自分自身の学習スタイルについても整理できた。

今後への活かし方

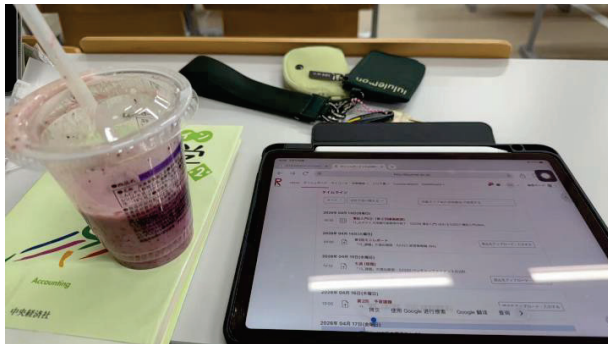
ディスカッションや発表を中心とするアウトプット型よりも、この順番の方が合う。今後の授業選択や、専門分野の学習の進め方に反映させる。

● CERTIFICATION

資格試験

合格

留学中に受験・合格



図書館。簿記のテキストと、LMSに並ぶ課題の提出期限。

留学前

勉強を始め、そのまま続けていた

留学中

授業と並行して自主学習を続けた

中間報告の時点

受験した直後で、結果はまだ出ていなかった

その後

合格した

授業だけで終わらせず、留学前から続けていた勉強を結果まで持っていけたことが、この4か月ではっきり残った成果。

● HOUSING

住まいと通学

部屋

大阪にいた知り合いの先輩がアメリカへ交換留学に行くことになり、その部屋を4か月借りた。不動産会社も住宅紹介サイトも使っていない。

場所

新大阪駅の近く。大学までは乗り換えなしで片道約30分。買い物や日常生活で不便を感じることはなかった。

ただし、これは運が良かっただけ。普通は寮を勧める。

手続きが簡単で、通学も生活も見通しが立てやすい。自分で探すと時間も費用もかかる。



住んでいた建物の外廊下から。新大阪の周辺。

キャンパスと大阪での生活

キャンパス

校舎と設備が新しく、自習スペースと図書館が充実していた。勉強する場所には困らなかった。

交通

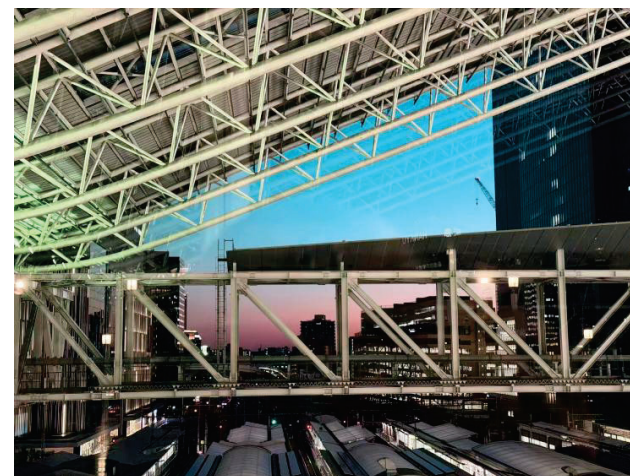
大阪は交通の便が良い。ただし路線と乗り換えは複雑なので、行く前に調べておくと楽。

生活の慣習

エスカレーターは右側に立つ。東京と逆なので、最初は戸惑った。

手続き

外国人留学生は、転出届・転入届と在留カードの住所変更が必要。忘れると後で面倒になる。



大阪駅。乗り換えの拠点。

● RESULTS

できたこと・できなかったこと

できたこと

- APUでは取れない分野の専門科目を13科目履修した
- 講義中心の授業形式を、4か月続けて経験した
- 自分に合う学び方が具体的に分かった
- 授業と並行して勉強を続け、資格試験に合格した

できなかったこと

- 履修予定科目の下調べが遅く、選択肢を十分に比較できなかった
- 教養科目は3科目とも抽選に落ち、1つも履修できなかった
- 学んだ内容を、自分の研究テーマの形にするところまでは進まなかった

これからやること

01 金融分野を掘る

留学中に興味がはっきりしたのが金融分野。まずは関連科目と資格の勉強を続ける。

02 研究テーマを決める

留学で学んだ内容を整理し、テーマを一つに絞るところまで進める。

03 大学院進学を選択肢に置く

学部卒業後の進学も想定して、学習・資格取得・研究準備を並行して進める。

● ADVICE

これから行く人へ

自分がやって効いたこと、やっておけばよかったことだけ。

01 履修予定科目は、行く前の早い段階で調べておく。自分はここが遅れた。

02 単位認定の条件と履修制度は、出発前に確認しておく。

03 簿記など、行く前から勉強を続けておくと授業の理解が早い。

04 大阪の路線と乗り換えは、行く前に調べておく。

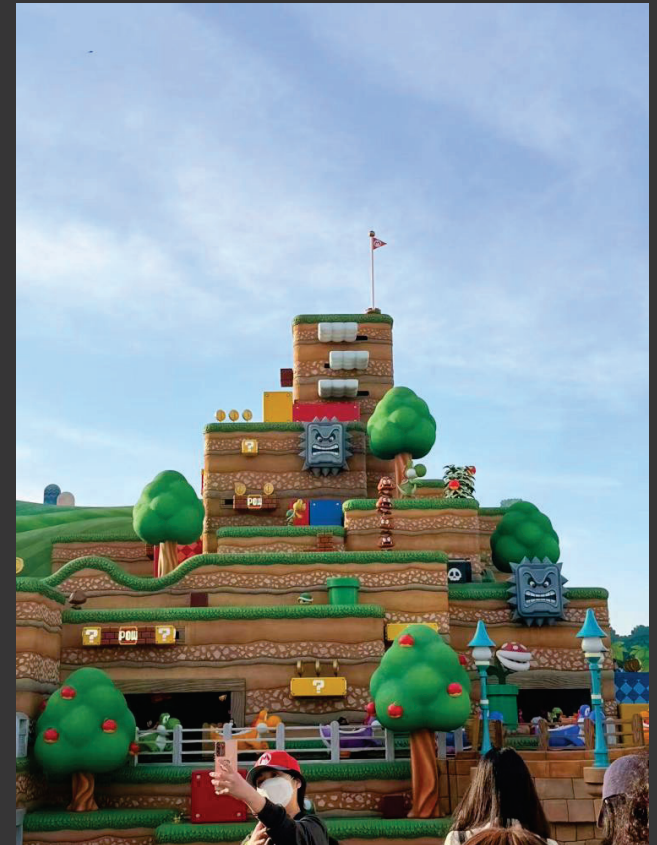
05 留学生は転出届・転入届と在留カードの住所変更を忘れない。

● CLOSING

別の大学で4か月授業を受けたことで、
自分がどう学ぶと理解できるのかが
具体的に分かった。

この経験と資格取得を、これからの専門学習と研究、大学院進学の準備につなげて
いきます。

ご清聴ありがとうございました。



休みの日に行ったUSJ。